



会社説明会

2014年4月22日（証券コード:3321）

本日はお越しいただき、誠にありがとうございます。

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、受付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

目次

- 1 会社概要・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 2014年5月期 第3四半期決算概要・・・・・・・・ 9
- 3 当社を取り巻く環境及び今後の見通し・・・・・・・・14
- 4 株主の皆様への還元方針・・・・・・・・・・20



会社概要

1-1 会社概要

商号 ミタチ産業株式会社
(MITACHI CO.,LTD.)

設立 1976年7月(創業1972年9月)

本社 愛知県名古屋市中区伊勢山2-11-28

資本金 5億2,160万円

代表者 取締役社長 橘 至朗

従業員 連結376名※
単体118名※ (※2013年11月末現在)

事業内容 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造

国内拠点

三河支店(愛知県岡崎市)
東京支店(東京都千代田区)
関西支店(京都府京都市)
浜松営業所(静岡県浜松市)

海外拠点

M.A.TECHNOLOGY,INC.
美達奇(香港)有限公司
台湾美達旗股份有限公司
敏拓吉電子(上海)有限公司
美達奇電子(深圳)有限公司
MITACHI(THAILAND)CO.,LTD
PT.MITACHI INDONESIA

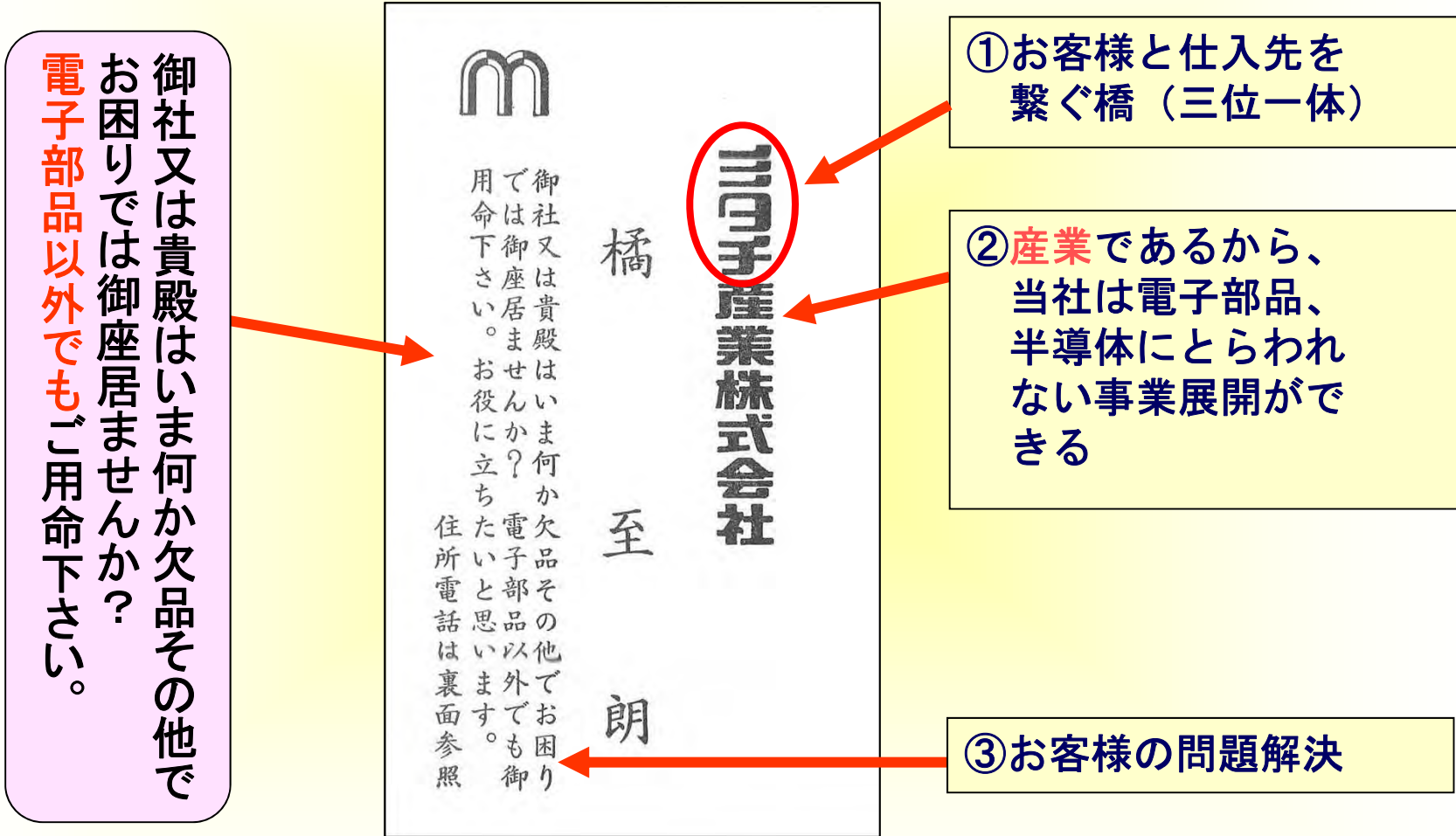


1-2 沿革

- 
- 1972年9月 創業
 - 1976年7月 ミタチ産業株式会社を設立
 - 1987年4月 (株)東芝と特約代理店契約締結
 - 1996年1月 フィリピンカビテ州において電子部品機器の製造、加工を行うM.A.TECHNOLOGY,INC.の株式取得
 - 2000年8月 M.A.TECHNOLOGY,INC.第2工場(現 第1工場)竣工
 - 2001年7月 香港において美達奇(香港)有限公司 を設立
 - 2003年8月 台湾台北市において台湾美達旗股份有限公司を設立
 - 2004年4月 東京・名古屋証券取引市場第二部上場
 - 2005年5月 東京・名古屋証券取引市場第一部指定
 - 2005年7月 中国上海市において敏拓吉電子(上海)有限公司を設立
 - 2006年5月 M.A.TECHNOLOGY,INC.第2工場新設
 - 2008年8月 中国深圳市において美達奇電子(深圳)有限公司を設立
 - 2012年9月 タイバンコクにおいてMITACHI(THAILAND)CO.,LTD を設立
 - 2013年10月 インドネシア ジャカルタにおいて PT.MITACHI INDONESIA を設立

1-3 創業の精神と経営理念

「お客様が困っていること解決しよう」と考え行動することがビジネスの源泉



▲ 当社創業当時の名刺

1-4 「ミタチ」の由来とシンボルマークについて



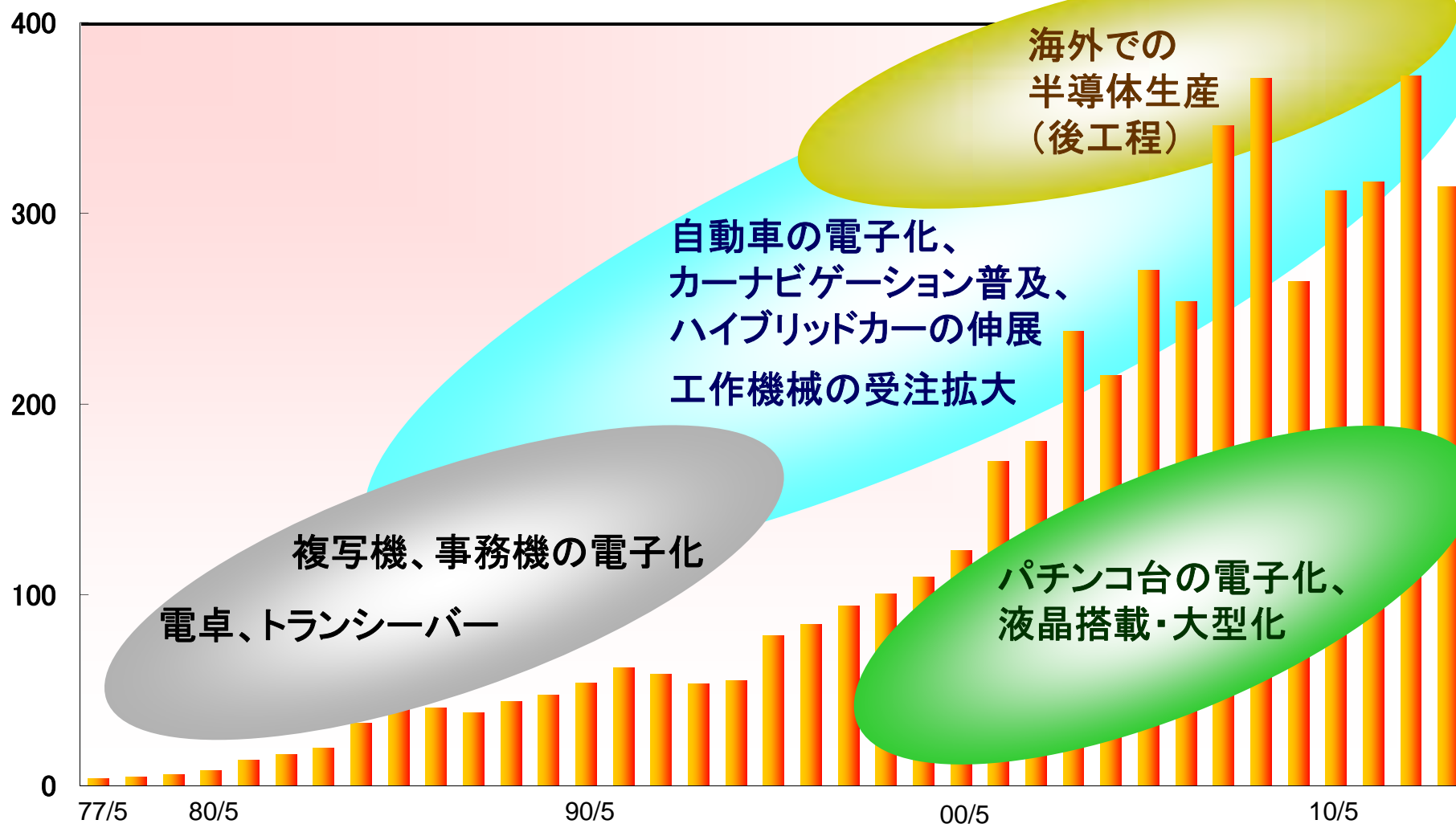
当社の社名は三つで成り立つ(お客様、当社、仕入先様)という三位一体の精神に由来しています。

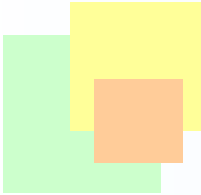
また当社のシンボルマークはミタチのイニシャル「M」と「ガールの水道橋」のアーチをモチーフに生まれました。

1-5 事業の変遷および業績推移

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)





2014年5月期 第3四半期決算概要

2-1 2014年5月期 第3四半期決算概要

(単位:百万円)

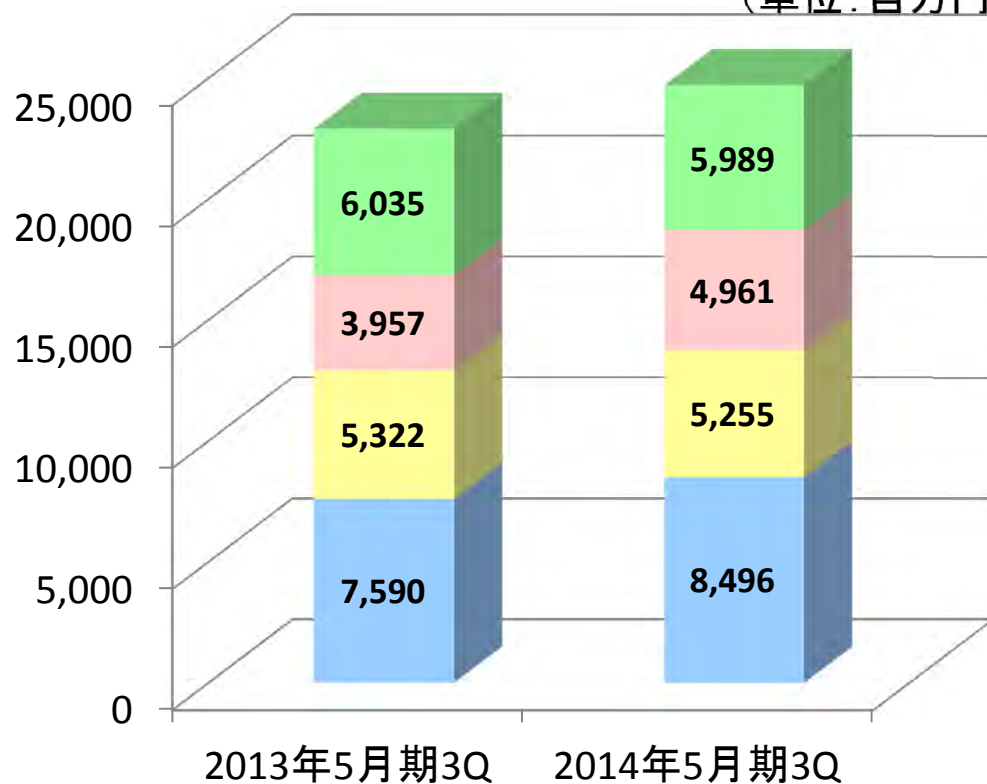
	2013年5月期	2014年5月期		2014年5月期	
	第3四半期	第3四半期		通期	
	実績	実績	増減率	予想	進捗率
売上高	22,906	24,703	+ 7.8%	33,000	74.9%
売上総利益	1,840	2,255	+ 22.6%	-	-
販売費及び 一般管理費	1,548	1,697	+ 9.6%	-	-
営業利益	292	558	+ 91.1%	600	93.1%
経常利益	535	694	+ 29.7%	700	99.1%
四半期純利益	348	500	+ 43.7%	500	100.0%

2-2 (参考)分野別売上高

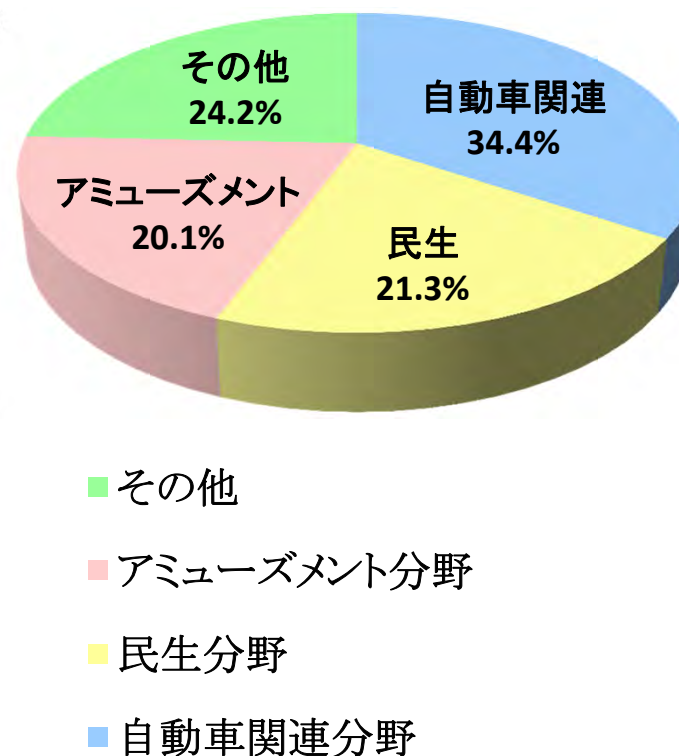
2014年5月期 第3四半期実績

分野別売上高

(単位:百万円)



分野別売上構成

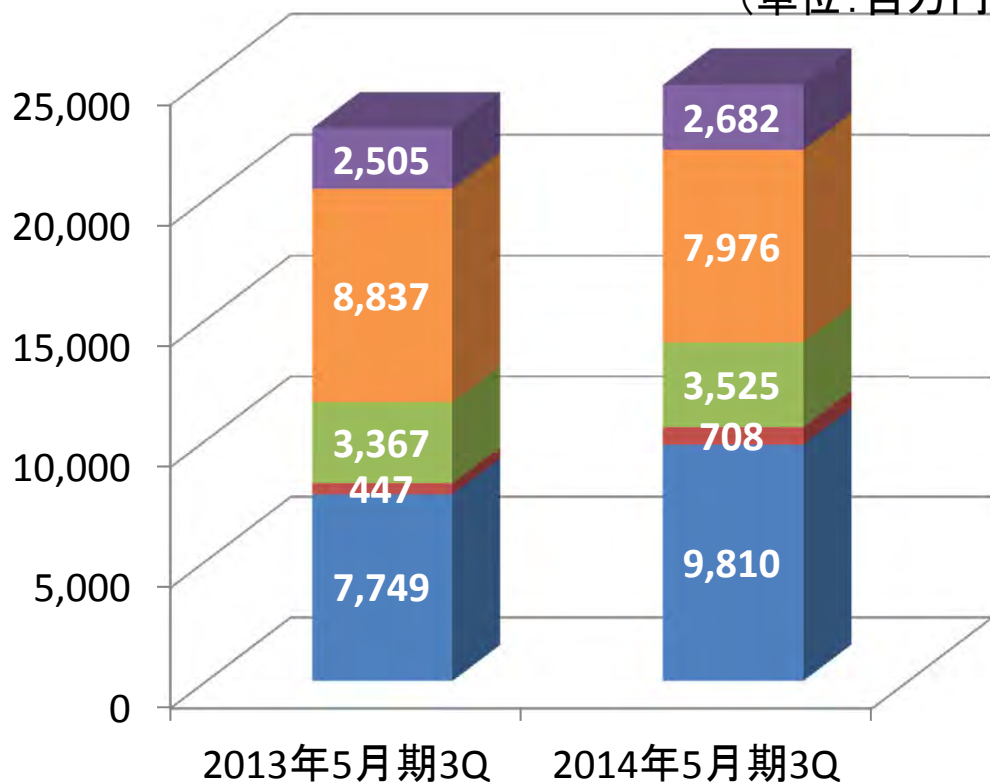


2-3 (参考)品目別売上高

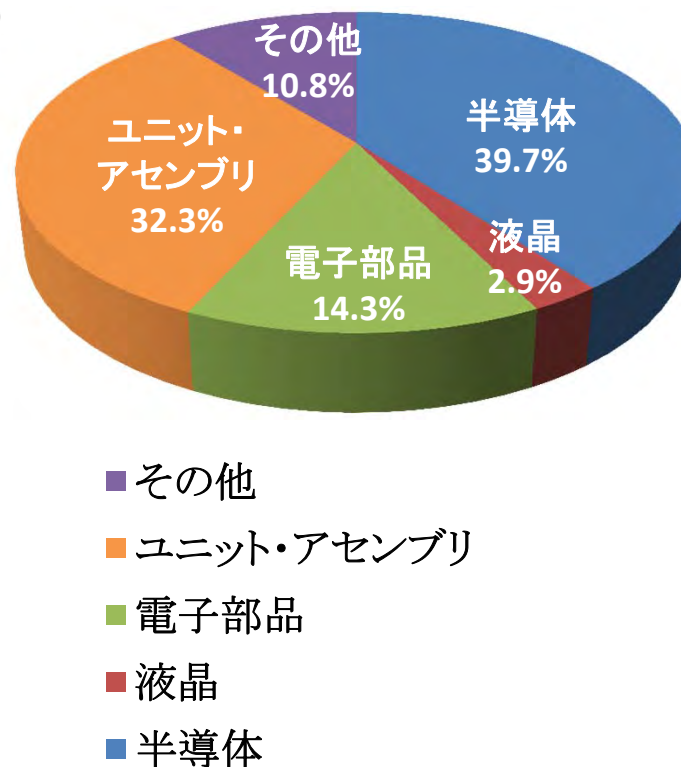
2014年5月期 第3四半期実績

品目別売上高

(単位:百万円)



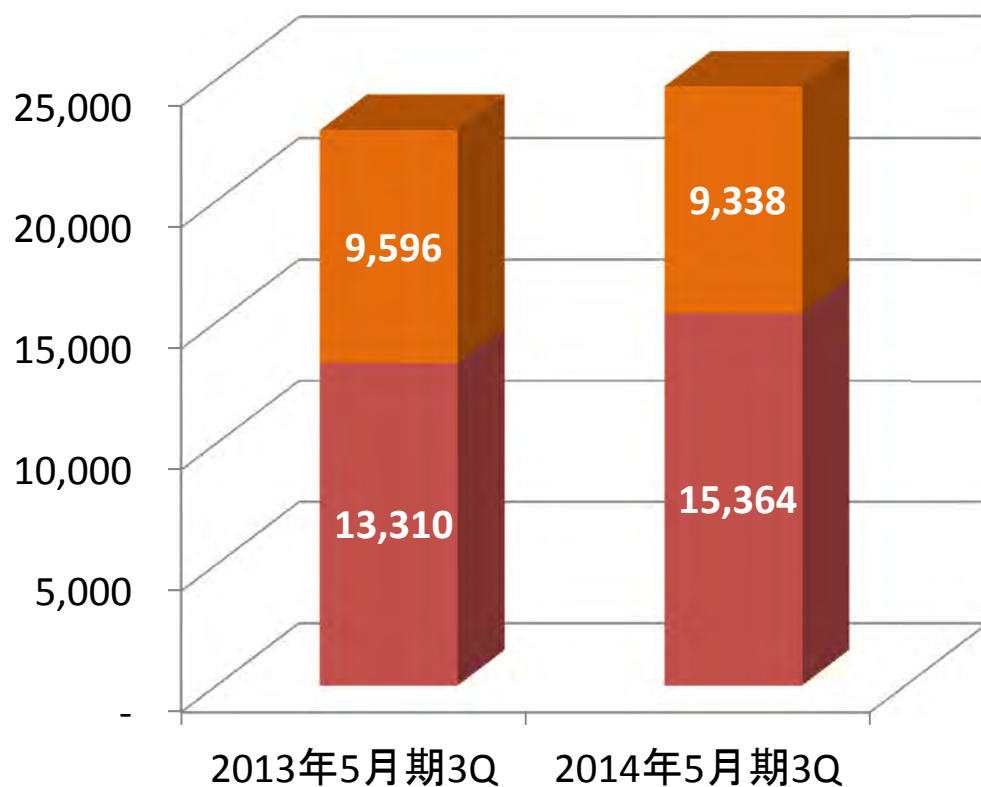
品目別売上構成



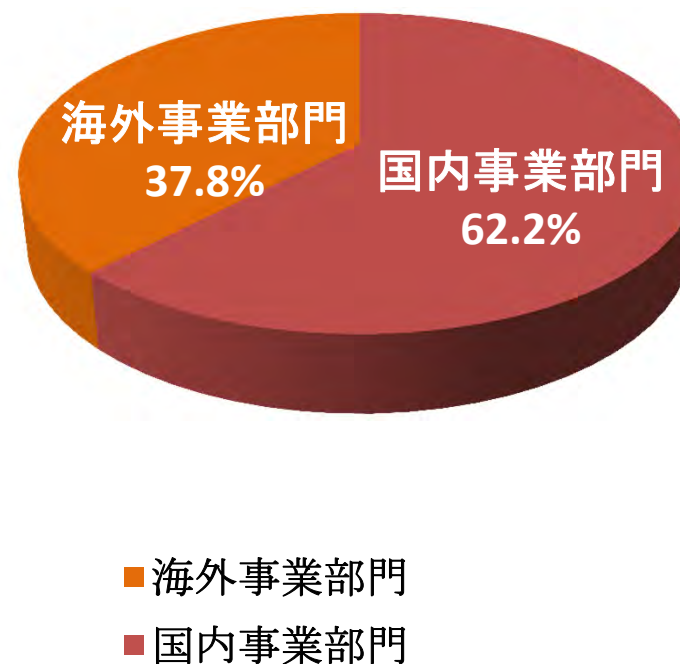
2-4 セグメント売上高・セグメント利益

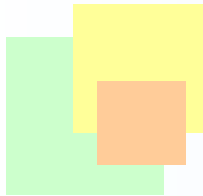
2014年5月期 第3四半期実績

セグメント別売上高



セグメント別売上構成





当社を取り巻く環境及び 今後の見通し

3-1 当社を取り巻く環境(自動車関連分野)

メーカー各社が「自動運転車」を開発

センサー と **映像** と **安全** がキーワード!



3-2 当社を取り巻く環境(アミューズメント分野・民生分野)

チャイナプラスワンで大注目！



3-3 当社を取り巻く環境(ヘルスケア分野)

医療の生産性向上で医療従事者の負担軽減

- ◆ 深刻な医師不足
2010年の人口1,000人当たり医師数2.2人
なお、2010年のOECD加盟国平均は3.3人
- ◆ 「2025年問題」
団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、
国民の4人に1人が高齢者。

▼ ナースセンターから患者の容態を監視



▲ セントラルモニター

3-4 当社を取り巻く環境(環境分野)

不二サッシと「リニューアル用LED照明」を共同開発

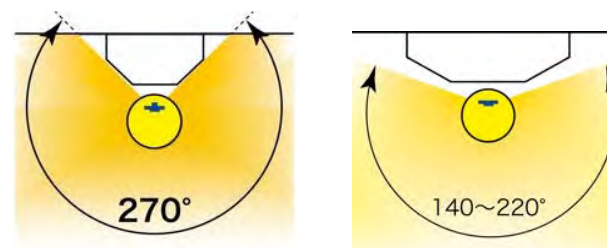
◆直管形LED照明



▼当社のロゴを刻印



◆特長である照射角度の違い



開発商品
(天井まで光が拡散)

従来商品

◆水銀灯形LED照明



3-5 当社を取り巻く環境(環境分野)

カタログハウスで当社「ゼコスヒーター」を昨秋販売

ホットカーベットの**新**ヒカイチ
【ゼコス70Wカーペット】
 ミタチ産業製

なんと、従来のホットカーベットの比べて、
 電気代が4分の1以下に減らせるから、
**ひと冬(5ヵ月)で電気代を
 5094円も節約できる。**

従来のホットカーベットの
 比べて電気代をこんなに節約できる。
 [1時間当たりの消費電力と電気代] 昼 中 夜

ニクロム線 カーペット	33.4℃ 480W 7.20円	33.4℃ 180W 4.00円
本品 (半導体)	33.0℃ 70W 1.54円	36.0℃ 44W 1.05円

本品の半導体ヒーターは、
 耐寒地の業務用として
 続々採用されている。

- ・仏・TGV車両の融雪ヒーター
- ・国内・高速鉄道車両の融雪ヒーター
- ・国内・駅舎や線路の融雪ヒーター
- ・北海道・工場内の水道パイプの凍結防止装置
- ・公立病院・保育所の床暖房

ニクロム線から半導体
 (本品)に移行する時代

本品の半導体ヒーターは、
 従来のニクロム線ヒーターに
 比べて、消費電力が約1/3に
 減り、電気代が約1/4に減る。
 また、従来のヒーターは、
 長時間使用すると、線が
 劣化し、断線の原因とな
 り、安全面でも問題があ
 りました。本品は、安全
 な構造を採用し、長年
 安心してご利用いただけ
 るよう設計されています。

ゼコス70Wカーペット(2畳用)

本体価格 21,810円
 (税込22,900円)送料別
 (送料別) 送料別
 (送料別) 送料別

本品は小売店でしか
 購入できません。

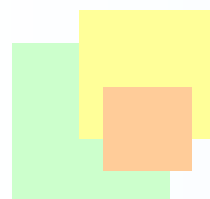
本品は、従来のニクロム線ヒーターに比べて、消費電力が約1/3に減り、電気代が約1/4に減る。また、従来のヒーターは、長時間使用すると、線が劣化し、断線の原因となり、安全面でも問題がありました。本品は、安全な構造を採用し、長年安心してご利用いただけるよう設計されています。



車輪につく雪を
 半導体ヒーターが
 溶かしている。

本品の半導体ヒーターは、
 厳寒地の業務用として
 続々採用されている。

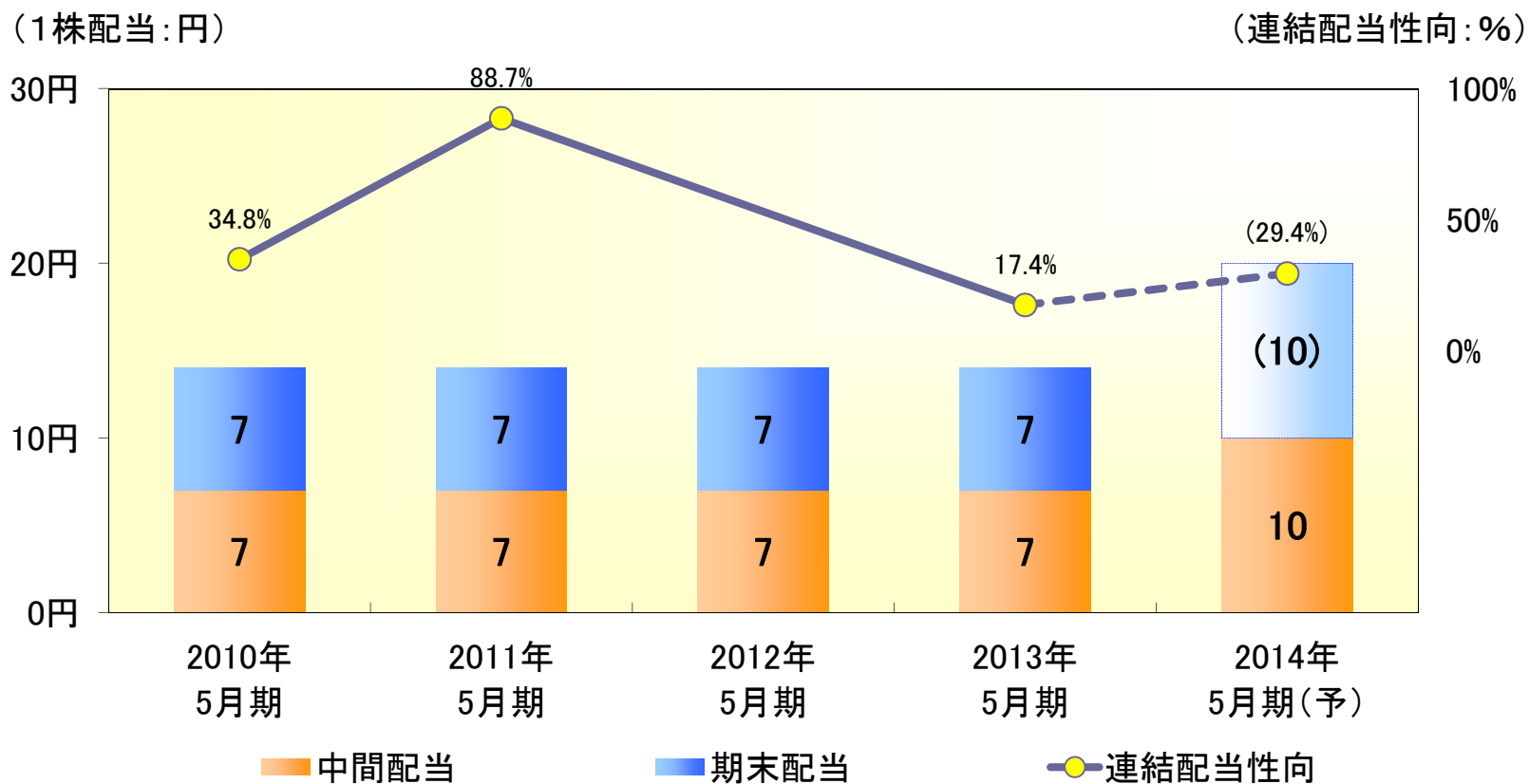
- ・仏・TGV車両の融雪ヒーター
- ・国内・高速鉄道車両の融雪ヒーター
- ・国内・駅舎や線路の融雪ヒーター
- ・北海道・工場内の水道パイプの凍結防止装置
- ・公立病院・保育所の床暖房



株主の皆様への還元方針

4 株主の皆様への還元方針

2014年5月期 年間配当 1株につき20円
 連結配当性向 29.4%



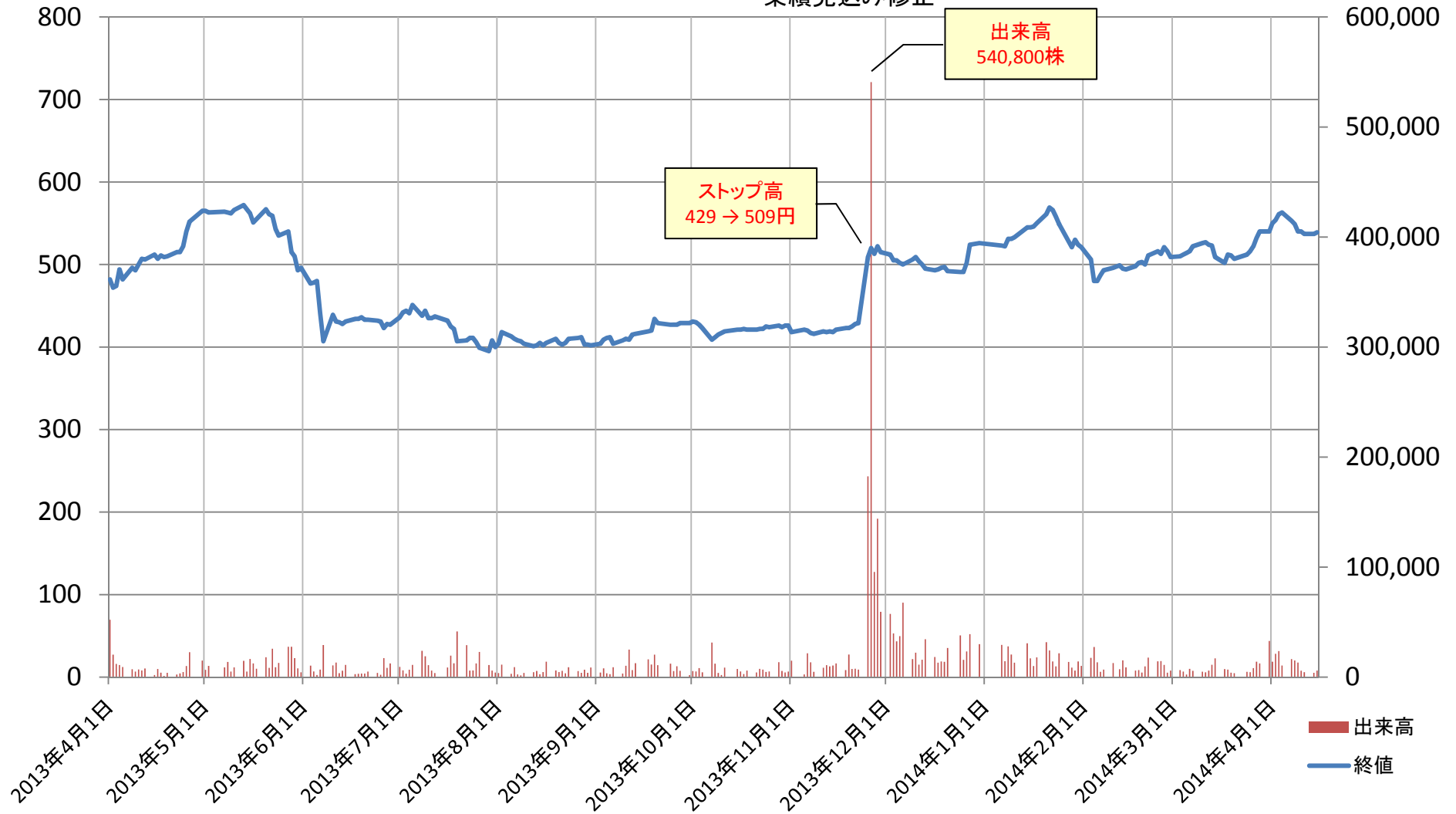
※2012年5月期は最終赤字のため連結配当性向は表示していません。

(参考) 株価推移

(単位：円)

※2013年11月22日
業績見込み修正

(単位：株)



IRに関するお問い合わせ窓口



 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp>

お問い合わせ窓口：経営企画室

TEL : 052-332-2512

FAX : 052-332-2514